

番号 (都道府県 順)	応募者名 (建築主等)	応募事業名	実証の種類	建築用木材 の主な使用 方法	実証する内容	RC造、S造等他工法との比較にかかる提案	建設地	建築物概要	担当者氏名
1	株式会社 デイワイ 代表取締役社長 澁谷 具孝	デイワイ社屋新築 工事の技術実証	(1)非住宅・中高層分野の 建築物における木造化・木 質化に向けた取組における 【技術実証】 (2)ツーバイフォー工法や 木質パネル工法等の普及 に向けた取組における 【技術実証】	構造体	デイワイ社屋は都心狭小地に建設予定の3階建て2×4木造ビルである。軽量かつ低コストである2×4工法をベースに階高を抑えるためのCLT床・屋根パネルや狭小間口対応のためのラーメンフレームを併用し、さらに、それらを現しとする設計を行うが、都心狭小地であるため、ラーメンフレームの施工に柱継手(施工性を考慮しピン接合)が必要となる。現状ではラーメンフレームの柱継手接合部のデータが不足しており、実験により接合部特性値及び構造安全性を確認する。協議会において、施工性を踏まえた接合部の最適納まり等を議論し、汎用性、低コスト性を検討する。	2×4工法は重量鉄骨造に比べ軽量で地盤、基礎が大掛かりにならず比較的工期も短くできるメリットがあるが、当該建設地のように都心狭小間口において開口スパンが大きくとれないことが店舗、事務所等の非住宅用途の選択肢を狭めている。ラーメンフレームとCLT床パネルを併用することで店舗にも適した大開口を可能にし用途の拡大をはかり、合わせて資材高騰のあおりを受けている重量鉄骨造に比較しコスト、工期をリーズナブルなものとし都心の低層ビル建て替えを促進できるものとして(従前のビルは重量鉄骨造のため比較検討が可能)	東京都 渋谷区代々 木	用途:事務所 構造:木造 階数:3階建て 延べ面積:213.45㎡ 工事種別:新築 竣工予定:令和6年12月 31日	株式会社 デイワイ 代表取締役社長 澁谷 具孝
2	大東建託株式会社 代表取締役 社長執行 役員 竹内 啓	2×4材を利用した 重ね床根太の技術 開発	(1)非住宅・中高層分野の 建築物における木造化・木 質化に向けた取組における 【技術実証】 (2)ツーバイフォー工法や 木質パネル工法等の普及 に向けた取組における 【技術実証】	構造体	今回実証する技術開発は枠組壁工法建築の長期的利用を念頭に、都市部建築で特に要望ある社会変化、ライフスタイル変化などに応じたスケルトンインフィルの空間を実現するための重ね2×4床根太の開発である。枠組壁工法建物は壁パネルと床根太による床組によって構成される建築物である。スケルトンインフィルのような空間を構成するには床組のスパンが大きくなることが条件となり、一般的に流通している製材(16フィート程度)では実現が難しい。そこで2×4製材同士重ねて釘等で一体化する床根太を提案し、技術開発および実証する。強度について、現状ではその接合部性能のデータが不足しており、実験により構造特性値を確認する。協議会において、接合方法の最適仕様等を議論し、汎用性、低コスト性を検討する。	この技術によるコスト実証は枠組壁工法の賃貸住宅での従来床組の場合と本構法の床組みを活用した場合を比較し、コスト比較、プラン比較について検証する。また同様のスパンを実現するトラス等の他の工法も存在するが、どれも一般的な普及性は高くない。今回の提案工法は一部の工場や業者しかできない工法というのではなく、普及性の高い内容であり、特殊な技術や接合ではないため、コストも他工法より合理的になる可能性が高い。	岡山県岡 山市南区	用途:長屋/実大検証 棟 構造:木造 階数:2階建て 延べ面積:340.97㎡ 工事種別:改築 竣工予定:令和7年12月 31日	大東建託株式会社 技 術監理部 南部佳央